

2022年度 柳町小学校経営方針

合言葉

チームワーク フットワーク ネットワーク で ※ **柳町小の大仕事** を成し遂げる

①

②

③

※ **柳町小の大仕事** 一人一人の子どもに自信をつけて共栄中学校に送り出すこと

① チームワーク ※心理的安全性（あたたかさ・安心感）・情報共有

- ・柳町小学校の教職員一人一人が、「学校の顔」「子どもの鏡」である。
- ・柳町小学校の教職員一人一人が、設置者でありサービス管理者である音更町教育委員会の指導の下、本校の子どもを育てることに自信と誇りをもつ。
- ・柳町小学校の教職員一人一人が、「チーム柳町小」の屋台骨である。
- ・柳町小学校の教職員一人一人が、互いのよさを尊重し高め合う。

※がんばっている同僚への感謝・気遣い・思いやりの心があふれる職場

※同僚はもちろん、子ども・保護者など、そのときに真剣に物事に取り組んでいる人のがんばりに感動し、しっかり讃え合える、こんな職場をめざす。

② フットワーク ※スピード・ていねいさ

- ・柳町小学校の教職員一人一人が自分の役割を果たし、互いの業務のすき間を埋めることを意識する。*「目配り、気配り」に努める。

※これが、仕事の「漏れ・落ち・抜け」の防止になる。

※一人一人の軽快なフットワークが、レベルの高いチームワークを生み出している、こんな職場をめざす。

③ ネットワーク ※TPOに応じたリーダーの存在・個々のコミュニケーション力の発揮

- ・柳町小学校の教職員一人一人が、保護者、地域、関係機関と良好な関係を作る。
- ・柳町小学校の教職員一人一人が、情報収集のアンテナを高く掲げ、外部との連携協働を大切にする。

※得られた情報やつながった人材の活用、これがレベルの高い授業づくりと心の通った生徒指導に生きてくる。

1. 経営方針の重点

◎ 学校教育目標へのアプローチ

主体的で 創造性豊かな 子どもを育てる

A B
↓ よく考えて ↓

進んでできる子

工夫してできる子

A：進んでできる子は、
自信がある子

B：工夫してできる子は、
考えられる子

ねばり強く たくましい子

※集中力と忍耐力

「師弟同行・ほめる指導・目を離さない指導」の徹底

- ・一人一人の教師が子どもに寄り添い、子どものよさをほめながら、きめ細かい指導に努める。常に「子どもと共にいること」を大切にする。

◎ 子どもの自信とやる気を引き出し、考える力をつける。

- ・子どもは ほめられれば、自信がつく
自信がつけば やる気が出る
やる気が出れば やってみたいくなる
やってみて またほめられると 目標を持てるようになる
目標を持てば 物事を深く考えられるようになる

◎ 本校の教育の根幹

- ・6年間の柳町小での経験を通じて、すべての子どもが将来、社会の中で幸せな大人になるためのスキルとコツをじっくり身につけさせる。
- ・（上記の実現のために）柳町小の子どもたち全員に自信をつけて、**中学校に送り出す。**そのために、柳町小で子どもたちに「**確かな学力、他人と連携協働できる態度、強い心身（心と体の健康）**」を身につけさせる。それが子どもの自信となる。
※中学校へのなめらかな接続と中学校との連携協働

2. 本校が「これからも特に大切にしていきたい」こと

◎ 保護者・地域の皆様との「信頼」の強化

- ・児童、保護者への迅速で丁寧な個別対応 *フットワーク
- ・個別最適化を意識した子ども・保護者対応 = 積極的な「えこひいき」
※それぞれの子どもや保護者が抱えている課題や問題は千差万別。
子どもや保護者の課題に「寄り添う」ために、一人一人に合った対応（時間・場所・言葉かけ等）を最大限工夫する。
- ・子どものために集える人間関係づくり（各種関係機関・団体を味方に）
※ネットワークを生かして、チーム力を高める

◎ 年代や経験を越えて、一人一人が進歩・向上を！

- ・ Job Shadowing、OJTの充実
※Job Shadowing
職場の手本となる人に「影」のように密着して行動を共にし、その仕事ぶりや職場の雰囲気を観察すること
※OJT = On The Job Training
日常の職務を通して、教職員としての必要な知識や技能、態度等を組織的・計画的・継続的に高めていく取組。目的は個人の成長と学校の課題解決。OJTの形は、管理職や先輩教職員から後輩教職員への指導に加え、年齢や経験を越えた「同僚同士の教え合い」も含まれる。
- ・研修会への積極的参加と還元、本校のオリジナルの授業体制の確立
年齢・経験に関係なく、そのときに困り感を抱えている同僚を支える意識と実践
※目をかけ、手をかけ、しかし、足かせにならないように

◎ 縦と横のつながり、斜めのつながりを駆使して、立体的に 子ども・保護者・地域を包み込む

※柳町小の学校経営の伝統である「縦糸と横糸を紡ぎ最高の織物（学校）を作り上げること」を継承し、更に発展させる。

- ・縦のつながり：先輩教員から後輩に伝えられる教師魂・スキル・コツ
- ・横のつながり：各学年・ブロック内、分掌間の横の情報・作業の共有
- ・斜めのつながり：地域の方や各関係機関・団体との関係づくりと連携協働

◎ いつでも、どこでも、情報共有（ホウ・レン・ソウ・カク）を

- ・管理職および同僚への「報告・連絡・相談・確認」は職場のモラル。
これが守れないとチームワークは崩壊する。
- ・困ったときこそ、ホウレンソウを使って助け合う。何よりも情報共有を。
- ・チームワークに「チン・ゲン・サイ」はいらない。
※チンゲンサイ＝沈黙する、限界まで言わない、最後まで我慢する

3. 知・徳・体に関して ※凡事徹底・外部人材の活用

<確かな学力の育成>

(1) 学ぶ意欲を高める指導 ※生徒指導の機能を生かした集団づくり

- ① 進んで学習に取り組むことができる指導の構築および学級集団の育成
- ② **始業時刻を守り**、一時間の見通し・ふりかえりの充実が見られる授業づくり
- ③ 全校的な統一感のある学習規律の徹底と検証 ※「そろえること」を大切にした学習指導

(2) 学力の向上 ※個別最適な学び・協働的な学びを意識した授業づくり

- ① 低位層の児童の学力の底上げと 中・上位層の児童のさらなる学力の引き上げ。
そのための取組の実践と交流
 - ・CRT 学力調査結果、全国学力・学習状況調査結果など **客観的資料に基づいた全体指導・個別指導の充実**。
- ② **家庭学習の習慣化** ※ICTの効果的活用
 - ・授業との効果的な接続、「家庭学習5か条」、新「家庭学習の手引き」の活用
- ③ 放課後学習の充実
- ④ 長期休業中の学習教室の充実

<豊かな心の育成>

(1) 道徳教育の充実 ※いじめ根絶、多様性の尊重 → 人権意識の育成

- ① 「道徳の時間」を要とした指導の充実、授業の公開
 - ・「道徳の時間」の指導力向上、評価の在り方にかかる研修の実施、全体および個々の力量向上を図る計画的な研修の推進。

(2) 生徒指導の充実

- ① 報連相確の徹底。（近くの先生にすぐ話す。学年団・ブロックの先生にすぐ話す。）

- ② 安心、安全で規律ある学校生活を目指した指導の充実
- ③ いじめや不登校、問題行動への適切な対応
 - ・未然防止、早期発見・対応、アンケートの実施、個別面談や教育相談などの充実。
 - ・保護者、地域、関係機関との速やかな連絡と連携。
- ④ **しっかり挨拶・返事ができる児童 → 十勝で一番挨拶・返事ができる小学生めざす。**

<健やかな体の育成>

(1) 体力・運動能力の向上

- ① 体力向上プランに基づく取組の充実
 - ・「体力向上の全体計画」を活かした授業改善、体力向上の取組の継続・充実
 - ・新体力テストの実施（全学年）、「体力づくり1校1実践」や「どさんこ元気アップチャレンジ」の取組の継続
- ② 休み時間や放課後等における運動の促進
 - ・体育的行事や体育の授業との関連、全校的な取組の工夫

(2) 健康・安全教育の充実

- ① 心身の健康の保持増進を図る指導の充実
 - ・健康観察や日常的な健康指導の充実、給食指導の充実と食育の推進
- ② 交通安全・防犯・防災の充実
 - ・地域や関係機関と連携した安全教室、練習・訓練の実施

<学習指導要領を受けて>

(1) 適切な教育課程の編成実施

- ① 年間授業時数の確保
- ② 各教科、領域等の年間指導計画の改善充実、検証。
- ④ 主体的、対話的で深い学びとなる「総合的な学習の時間」の工夫
- ④ 英語科の情報収集、および授業実践 ※次の学校に行ったときに困らないように

(2) 家庭・地域との連携の一層の充実

- ① 幼稚園・保育所、小学校、中学校との交流や連携の具体化・継続化
 - ・**学童、保育所、緑陽台小学校、共栄中学校等との積極的な連携**
- ② 地域の人材・教育資源、外部講師等の積極的な活用
- ③ 電話、家庭訪問、各種たより等による積極的でこまめな情報発信、啓発、連携強化
 - **丁寧な対応**と、相手に理解してもらい**味方になってもらう**

- ④ 授業参観、懇談等の効果的な実施、説明責任の徹底
 - ・ 参観日以外も必要に応じて可能な限り授業参観に対応する基本姿勢

4. 信頼される学校のために

<開かれた学校>

(1) 特別支援教育の充実（支援部を中核として）

- ① 共通理解に基づく適切な支援の充実、学習支援員と連携した個に応じた指導
 - ・ *※目的と意図をしっかりとふまえた「交流学級での支援」と「個別支援」の設定→保護者の理解*
- ② 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成、活用の充実
- ③ 保護者との意思疎通の重視、専門家や関係機関との連携の促進

(2) 儀式的行事の適正実施と内容の充実

- ① 国旗・国歌の指導の充実
 - ・ *国歌の歌唱指導の徹底*
- ② 日常の教育訓練の成果を生かす場としての意識化

(3) 日常的な取組の充実

- ① 日常的な安全点検、危機管理の徹底
 - ・ マチコミメール登録率 100 パーセントを目指した啓発（4月中旬）
 - ・ 授業時間中の児童玄関施錠の徹底
- ② 教室環境の整備、職員室の机上整理、日常的な整理整頓・清掃の徹底
- ③ **来校者、電話等における適切な対応**
 - ・ *来客時の挨拶、服装、言葉遣いにより学校への好印象化 = 職員は「学校の顔」です*

<開かれた研修の推進>

(1) 日常実践に結びつく校内研修の活性化

- ① 各種研究会・研修会への計画的、積極的な参加と成果交流
- ② 授業公開を中核とした全教職員による研修体制の確立

(2) 学校教育指導訪問の効果的活用と内容の充実

- ① 年間研修計画への位置づけ、在局指導の実施

(3) 日常的な取組の充実

- ① 不祥事根絶に向けた取組、日常的な確認
 - ・ 服務規律の厳正な保持、法令遵守（重点；交通安全、体罰防止等）
- ② 各種帳簿類の整備・点検・管理の徹底→適切な記入処理、申請手続き、定期点検の実施
- ③ 関係機関や保護者等の来校時における教室訪問の実施
- ④ 働き方改革の一層の推進
 - ・ 分掌業務の統合と相互補完
 - ※だれかが休んでも、ほかの人がカバーできる体制づくり
 - ※職員間のふだんからの報告・連絡・相談・確認の徹底
 - ※スクラップ&ビルドを意識した業務の効率化
 - ・ 当事者意識を大切にされた業務の平準化
 - ※「いつか自分がその業務を担当するかもしれない」と意識で業務内容を振り返り、改善と効率化を図る。
 - ※だれが担当してもその業務を遂行できるよう、ふだんからのデータ整理及び引継ぎを意識した仕事の仕方
 - ・ 月 45 時間以上の超過勤務の解消
 - ※職員が心身共に健康で、柳町小の子どもたちのためのよりよい教育活動を展開するために、まずは超過勤務の時間を減らすことを意識する。

<その他>

- ① 防災・緊急時対応・新型コロナウイルス感染に関わる適時・適切な対応
 - ・ **防災教育の取組と充実**
 - ・ 衛生管理の徹底
 - ・ **いかなる状況でも子どもの学びを保障する手立てと工夫**
- ② 危機管理マニュアルの再確認